

訪問診療医師らが証言「医療崩壊現場の戦慄」

コロナ自宅待機患者が クリニックに殺到で行列

を

まだひどい肺炎の症状が残っていました。そのため、今はうちの病院に転院してもらっています」
そして隣の兵庫県でも、同じような状況に陥っていた。
拠点とする3病院の重症病床使用率は83%を突破。5月6日時点で入院調整中のコロナ患者は1千840人となり、自宅療養中の患者は1千743人にのぼるのだ。
そんななか、兵庫県尼崎市市内にある長尾クリニックには毎日30〜40人の発熱患者が押し寄せているという。長尾和宏院長は、現在の状況をこう明かす。
「この1年、屋外で発熱外来を行ってきた。今では行列ができて、患者さんが訪れるように。昨日なんてあまりにも人が多すぎて、通行人に怒られました。うちは町のクリニックですが、



自宅への訪問診療を行ってきた東大阪生協病院

朝から晩まで電話が鳴りやまない状態です。またコロナの診断だけでなく、自宅療養中の患者さんへの往診もしています。
だから、スタッフのなかには精神的に追い詰められている人も出てきています。彼らのフォローをしてあげるのも私の役割なのですが、私自身が泣きたい気持ちです。もうずっと休む暇もなく、常に気を張っています」
取材中も患者からの電話が鳴り響き、対応に追われていた。それでも診療を続ける理由について、長尾さんはこう語る。
「熱があつて苦しいのに、保健所のスタッフにも救急隊にもかかりつけのお医者さんにも受け入れを

「先生、何とかして助けてください…」

拒否されている。そんな引き取り手のない人たちが増えています。彼らが、私に涙を流しながら言うんです。「先生、何とかしてください。助けてください」と。そうしたら、もう診ざるをえないじゃないですか……」
今も行列をなす自宅待機患者たちと向き合い続ける長尾さん。今後の必要なことについて語る。「私は、地域包括ケア」で立ち向かうべきだと主張してきました。コロナで重要なのは「早期診断」と「早期治療」です。まず地域のかかりつけ医が患者を診断し、感染が判明すればすぐに治療を開始。酸素飽和度が93%以下なら、酸素も投入します。在宅医療で対応しながら入院を待つ。そのなかで重症になりそうな患者さんをピックアップして、保健所に連絡するのです。私は40人以上のコロナ患者を診断し、100名の自宅療養者を管理してきました。しかし、看取りはゼロです。
今の保健所を中心としたやり方は、もう破綻寸前です。だから、私たち医師会と保健所のネットワークを強化して対処していく。そういう大胆な転換が必要な時期にさしかかっているのではないでしようか」
深刻な医療崩壊現場の実態。地域で一丸となって乗り越えることができるのだろうか。

発熱外来を行ってきた尼崎の長尾クリニック



新型コロナ感染拡大によって、病床は逼迫。自宅待機を余儀なくされる患者が激増している。結果、症状の悪化に加えて家庭内感染まで広がるという戦慄の事態に――

た。
そんななか、東大阪生協病院では自宅待機患者への訪問診療を行ってきた。吉永さんが続ける。「本来なら保健所が自宅待機中の患者に毎日連絡して客体を確認したり、病院への入院調整をすることになっていました。しかし患者の数が増えすぎた結果、保健所はパンクしてしまっただけです。患者から保健所に連絡したとしても、何日も放置されてしまう。かといって病院に連絡をしても「満床なので保健所に相談してください」と言われ、たらい回しにされてしまいます。今の大阪は、そういう、病院に行きたくても行けない患者、であふれかえっているような状態です。
うちの病院も人手は足りないのですが、目の前の患者さんを見捨てるわけにはいきません。だから本当に重症の人には、可能な限り対応しているんです」
吉永さんは実際に起きたこととして、大阪府に住む高齢夫妻の事例を教えてください。
まず最初に、夫・Aさん(69)の感染が発覚。容体が急変し、意識不明の状態となった。妻のBさん(69)は何度も保健所に入院をお願いし続けたが、「ベッドに空きがない」と断られ続けた。
このとき、東大阪生協病院がたまたまBさんに連絡したことで事

「保健所の基準では感染から10日が経過すると、自動的に、コロナは治った」と判断されてしまうんです。そのため患者はどれだけひどい状態でも、コロナ患者受け入れ病院から早期に退院させられてしまいます。
実際にBさんは退院する段階で、

「これまで7人の自宅へ診察に向かいました。すると、やはり多くの患者さんが重症化してしまっていたんです。自宅に置いておくわけにはいかないので、保健所にかかりました。なんとか5人は入院につなげられましたが……」
そう語るの、東大阪生協病院事務長の吉永哲弥さんだ。
本誌が前号で報じた新型コロナウイルス変異株の脅威。大阪府ではコロナ重症患者向けの病床使用率が100%を突破しており、その影響で軽症や中等症患者向けの病床も逼迫。「今後は重症化しても病院で治療を受けられず、自宅にただ死を待つだけといったケースが激増しかねない」という医療現場からの悲鳴を伝えていた。
だがその指摘は、すでに現実のものとなり始めている。
5月7日時点で大阪府が公表しているコロナの重症病床使用率は159・4%。自宅療養患者は1万3千650人で、入院調整中の患者は3千169人にものぼるといふ。そして死者数は過去最多の50人を記録し

態を把握。医師が自宅に駆けつけ、なんとか最悪の事態は免れた。当時、Aさんは酸素吸入が必要なほどの状態だったという。
そして、さらに事態は悪化していく。今度はBさんの感染が発覚したのだ。このときも吉永さんらが保健所につけ合ったおかげで入院できたものの、Bさんは翌日に人工呼吸器をつけなければならぬほどの重症だったという。
つまり自宅待機を余儀なくされたことで夫の症状が悪化し、さらに妻にも家庭内感染が広がったということだ。また、退院にも問題が。吉永さんが語る。



医療崩壊危機に直面する吉村大阪府知事(左)と井戸兵庫県知事(右)だが……

小室圭さん 7月帰国 元婚約者を懐柔工作

佳子へ紀子へ怒 結婚禁止令! 26歳の就職に社会で人を見る目を

King&Prince 5人がポスト嵐! 24時間テレビ 初司会で日テレ決断

5月25日号 特別定価430円 光文社



58歳長女が「車いす生活」! 長男の壮絶孤独死から2年... 村中玉緒 81歳 逆介護の心痛

大阪・兵庫 待機陽性患者 市街の医療崩壊現場の戦慄

コロナ重症化 持病別 ランキング

長生きするためのやるべきこと

日本のトップ6大医療機関が緊急提言
「おちよん」最終回直前! 激白60分
杉咲花 クス父と絆のヒー玉秘話



愛子さま 仲よしの馬へバイバイ



有吉弘行 忍従の妻へ全力献身

阿部寛「ドラゴン桜」 視聴率より娘2人の支持率

「プレバト!!」夏井いつき「菓ごもり俳句」指南

福招き&鳥居の売り場 億呼ぶ 全国厳選

トースト ヨーグルト 新茶 レシピ& スポット



目撃撮 夏目三久との休日デートで「毒舌男の変心」

新田恵利 6年92歳母の看取り涙の告白

松本潤 俳優一本で4カ月再始動現場撮

文字 霊 開運術

食事 検診 飲酒 体重 ほか